

広島市植物公園 見どころ案内

ウメ (バラ科)
冬至(とうじ)は、中国原産の早咲き品種。冬至のころから、白い一重の花を咲かせるためこの名がつけました。
対面にあるのは、早咲き紅梅品種‘八重寒紅(やえかんこう)’も開花中です。
さらに奥にあるシダレ梅の品種‘藤牡丹枝垂れ’も咲きはじめています。
[日本庭園]

フクジュソウ
(キンポウゲ科)
天気の良いときだけ開きます。すぐ近くのユキワリイチゲも咲き始めました。

ツバキ (ツバキ科)
ヤブツバキが咲き、品種「クリスマス・ビューティー」など赤や桃花の品種が咲き始めています。

ヤマコウバシ
(クスノキ科)
落葉樹ですが、春先まで葉が枝に残るため、合格祈願「落ちない葉っぱ」として当園入口の売店で販売しています。

シナマンサク
(マンサク科)
中国原産。ねじれたリボンのような黄色い花卉です。色とりどりの園芸品種も咲き始めました。

クリスマスローズ
(キンポウゲ科)
ベゴニア温室南側で白、紅、緑などに色づいています。これからも少しずつ彩られていきます。

ウメ (バラ科)
ウメ園で品種「紅冬至」「夏花」などの桃花や白花が咲き始めています。

植物日本画展
～2月25日(木)
四季折々の植物の姿を描いた日本画を展示しています。
[展示資料館1階展示室にて]

ポルトギース
ヒース
(ツツジ科)
ヨーロッパ南西部原産。つり鐘状の小さい白花をいっぱい咲かせています。

ハンギング
バスケット
カスケード壁面に3つの巨大ハンギングバスケットを展示。今回はパンジー、ツタ、エレモフィラ、シロタエギクなどを使って冬バージョンに仕上げました。
[日本ハンギングバスケット協会ハンギングバスケットマスター作]

